



六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第2号
校長 田中 学
令和6年5月 2日

首都東京にて

3年生は、クラス替えをし、新しい仲間との生活がスタートして2週間足らずでしたが、4月24日（水）～26日（木）に東京修学旅行に行ってきました。実行委員長の阿部さんを中心に「みんなの思い出に残る旅行にするには、どうしたらよいのか」を問い続け、思考と対話を繰り返しながら準備をしてきました。

1日目は小雨の降る天気。舞浜アンフィシアターにて、劇団四季のディズニーミュージカル「美女と野獣」を観劇しました。

2日目は雲一つない青空で最高気温27度。午前中はお台場・有明を舞台にフォトゲイニング体験。グループで、ウォークラリー的に様々なスポットを撮影しながら見学して回りました。午後は東京ディズニーランドへ。目いっぱい楽しんで、集合時間の2分前に全員集合完了することができました。

3日目はクラス別行動。昨日に引き続き日差しの強い中、動物園や博物館、水族館、浅草寺などクラスごとに施設や名勝をめぐるしました。3日間を通じて、大きく体調を崩すこともなく、みんな元気に酒田に戻ってくることができたことが何よりです。東京での多くの学びが一人ひとりの社会的な視野の広がりにつながっていることを期待したいと思います。庄内空港への送迎など保護者の皆様のご理解とご協力にも感謝申し上げます。



地区駅伝大会に向けて

昨年度の3月に始動した本校駅伝チームが5月15日（水）に遊佐町旧藤崎小学校周辺にて開催される地区中学校駅伝競走大会に向けて練習に励んでいます。4月19日の生徒集会で改めてメンバーが紹介されました。道具を使わない走運動のトレーニングは自分自身の体力を鍛え上げるしかなく苦しいかもしれません。それでも、六中を代表して部活動に加えて駅伝の練習を頑張る姿は素敵です。先日は1回目の試走が行われ「昨年度より〇〇秒速くなった！」など、自分の頑張りを評価しながら、コツコツ積み上げることの大切さを実感している姿がありました。そんな彼らを全校あげて応援したいと思います。頑張れ！六中駅伝チーム！！

また、4月27日（土）～29日（月）に行われた山形県縦断駅伝競走大会に、酒田飽海のメンバーに、菅原さん（3年）と住石さん（2年）が選出され、菅原さんは3日目の24区（3.3km）を区間5位で駆け抜け襷をつなぎました。修学旅行直後の疲れもある中での力走でした。

駅伝メンバー

〇男子

仲條 翔稀さん（3-1）	大塚 崇開さん（3-2）	金子 瑛音さん（3-2）
吉村 篤生さん（3-2）	菅原 希一さん（3-3）	藤田 春輝さん（3-3）
中西 きらりさん（3-4）	住石 悠真さん（2-1）	齋藤 大和さん（2-2）
佐藤 陽介さん（2-2）	仲條 羽玖さん（2-3）	荒木 一桜さん（2-4）

〇女子

池田 柚葵さん（3-2）	栄田 柚菜さん（3-2）	石井 桜子さん（3-3）
樋口 一花さん（3-4）	渡部 鈴さん（3-4）	小野山 寧音さん（2-2）
須田 美海さん（2-2）	小松 あさひさん（2-3）	池田 心希さん（2-4）

六中の教育

令和6年度の酒田六中の教育のめざすところを下記のとおりとします。保護者・地域・学校が協力し生徒の成長を支え「六華の心の花咲く」学校をめざしてまいります。お気づきの点がございましたら、学校までご連絡をお願いいたします。

教育目標

- 自主的で創造力に富む生徒 <学ぶ・素直な心>
- 他人の立場を理解し協力し合える生徒 <思いやり・感謝の心>
- 健康できびしさに耐える生徒 <耐える・奉仕の心>

こんな学校を目指します

六華の心が花咲く、笑顔と活力に満ちた学校

- ・確かな学びの保障
- ・豊かな心
- ・健やかな体
- ・全員に居場所
- ・めざす生徒像の共有、協働
- ・行き届いた清掃、掲示物、花と緑など

こんな生徒を目指します

気づき、考え、主体的に行動できる生徒

- ・学校研究「主体的に学ぶ生徒の育成」
- ・六中学区小中一貫教育「変化に柔軟に対応し、主体的、協働的に課題解決を図る」
- ・生徒会の理念とビジョン「授業や部活、行事、地域貢献活動に生き生きと取り組む」

こんな支援を大切にします

1 確かな学びを育む「主体的・対話的で深い学び、単元を通した確かな学力」

- 指導の個別化と学習の個性化
- 学校研究との連動
- 特別支援教育の推進
- 学習六ヶ条の励行
- 主体的な家庭学習と読書の励行
- ICT教育の推進
- 総合的な学習の時間の体系化

2 豊かな心を育む「他者の尊重、協働を通した自己効力感・自治力・人間関係形成力」

- 自尊感情・自己有用感・他者意識の醸成
- 特別活動の体系的な整理と実践
- 道徳授業と日常の道徳教育の充実
- キャリア教育といのちの教育の推進
- 多様性の理解と受容
- SDGsの理解と行動化
- 日常的教育相談の充実と居場所のある学校
- 部活動を通した人間観づくりと健全育成
- 主体的・自治的な活動の充実

3 健やかな体を育む「いのちの教育、より良い生活習慣の形成」

- 正しい判断で感染症予防
- 命を守る安全教育の推進
- 心身の健康の保持増進とタイムマネジメントの視点に立ったメディアコントロール
- 体力・運動能力の向上
- 食育の推進と清掃活動の推進

4 協働と貢献の心を育む「地域に貢献する活動、社会性を身に付けた生徒」

- 家庭、地域、学区小学校との課題や願いの共有と協働実践
- 学校運営に関する公開と評価
- 地域に貢献できる中学生
- 小中一貫教育の更なる推進
- 信頼される教職員
- 避難所運営時の連携と役割の再確認

実現のためのキーワード

思考

「本当にそれでいいの？」
「どうしてそうなるの？」
「なぜそうするの？」
「もっといい方法は？」
自分の頭で、問い直しや
振り返りをし、少しでも
良いものへ変えていく。

対話

「同じなのか、違うのか」
「本当にそうなのか」
「もっと良くならないか」
言葉のキャッチボールを
繰り返し、深め広げる。

温

自分と全く同じ人はいない。
互いの違いを理解し
尊重する
心は見えないけれど、心
遣いは見える。思いを形
にして相手に伝える。